



「学校説明会、学級懇談会お世話になりました。」

19日(水)の学校説明会、学級懇談会、部活動説明会では大変お世話になりました。4年ぶりに対面で行うことができました。平日にもかかわらず多くの参加をいただき誠にありがとうございました。学校説明会では、学校の教育方針をはじめ年間行事、生徒指導など盛りだくさんの内容でしたが、保護者の方々と実際にお会いし、お話しできたことで私たち職員もこれからの活力と安心をいただくことができました。

また、その後の学級懇談会では新しい担任との顔合わせや保護者同士の懇談も進んだのではないのでしょうか。新しい年度になり、子どもたちの学校での生活の様子にも落ち着きを感じられるようになってきましたが、一人一人に目を向けると、新しい環境にすこし戸惑っていたり、これからの生活に不安を抱いていたりする児童も少なからずいます。学校説明会でもお話ししましたが、ご家庭で、お子様の様子で気になることや、ご家庭で少しでも心配なことがありましたら、いつでも学校にご連絡ください。

連絡を取り合うことでたいていの不安は安心に変わります。連絡を密にすることで互いの信頼が生まれます。

子どもたちの豊かな成長のためには、学校と保護者と地域が一体となって同じ方を向いて教育活動を行っていくことが不可欠です。どうぞ、これからもよろしくお願いたします。

「かけがえのない命を守る」

新しい年度が始まって、市内の小中学校では救急搬送を伴う飛び出し事故や自転車乗用中の接触や巻き込み事故、遊具からの落下事故などが増えているとの連絡が教育委員会よりありました。毎年、この時期は大きな事故が増える傾向があります。

楠小校区では、登下校時に多くの地域の方々や保護者の皆様が子どもに寄り添い、しっかり見守ってくださっています。先日は高学年の児童が一年生に「横断歩道を渡るときは、必ず立ち止まり、左右を確認し、手を挙げること。」をしっかりと伝えていました。一年生は何事も高学年の姿を見て、同じような振る舞いをします。楠小では安全に対する保護者や地域の方々の思いが子どもにしっかりと伝わっていると感じます。

しかし、通学路には、車通りの多い見通しの悪い交差点などもあり油断は禁物です。学校での生活についても危険箇所の確認や子どもたちへの指導をしっかり行っていきます。

また、先週21日(金)には、地震避難訓練を行いました。熊本地震から7年がたちます。その時の教訓から、様々なことが変わりました。一人一人が持っている防災頭巾もその一つです。子どもたちは事前に担任の先生と確認した合言葉『おかしも』・・・「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない」をしっかりと守って、真剣な表情で訓練を行うことができました。普段の生活でも、日頃から、自分で考え判断し、主体的に行動する習慣を身に付けておくことや放送をしっかり聞くことの大切さを伝えました。

学校教育で一番大切なことは、かけがえのない子どもたちの命を守ることです。今後、命を守る行動について様々な場面で子どもたちと考えていきたいと思います。

おさない かけない



しゃべらない

もどらない

